

2022年2月25日

お客さま各位

一般社団法人日本計量振興協会  
試験・校正センター

### 日本薬局方温度計トレーサビリティ発行書類変更のお知らせ

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

また、平素は当会の事業にご高配を賜り、厚く感謝申し上げます。

さて、2022年3月1日以降から当センターが発行する「日本薬局方温度計トレーサビリティ書類」について、下記のとおり変更することをお知らせいたします。

敬具

### ■トレーサビリティ書類（見本）

見本

一般社団法人 日本計量振興協会 試験・校正センターにおける  
温度のトレーサビリティについて

国 際 標 准

国際標準化機構  
国際単位系 (SI)

計 量 単 位 系

計 量 振 興 協 会

一般社団法人 日本計量振興協会  
試験・校正センター

No.	品名	規格
1	2013-1	C210270-1
2	2276	C210270-2
3	2013-3	C210270-3
4	2013-4	C210270-4
5	5123	C210270-5
6	9888	C210270-6

2022年 月 日

一般社団法人 日本計量振興協会  
試験・校正センター

見本

### 校正証明書

依頼者名 〇〇株式会社  
品名 日本薬局方温度計  
規格 〇〇  
製造者 〇〇株式会社  
目盛範囲 -10℃～40℃  
目 差 0.1℃  
点検番号 〇〇-〇〇  
校正年月日 2022年 〇月 〇日

〇〇〇〇〇〇は、国際標準にトレーサブルな下記の標準器を用いて校正し、合格していることを証明します。

校正に使用した国家標準器  
ガラス温度計標準器 (標準器) No. 2013-1

2022年 〇月 〇日

一般社団法人日本計量振興協会  
試験・校正センター

見本

社団法人番号 C210270-1

### 校正証明書

依頼者名 〇〇株式会社  
品名 〇〇  
規格 〇〇  
製造者 〇〇株式会社  
目盛範囲 〇〇℃～〇〇℃  
目 差 〇.〇℃

校正方法 〇〇  
校正場所 〇〇

発行年月日 2022年 〇月 〇日  
校正年月日 2022年 〇月 〇日

校正の結果は次頁のとおりであることを証明する

2022年 〇月 〇日

〇〇〇〇〇〇株式会社 〇〇〇〇〇〇部  
一般社団法人日本計量振興協会  
試験・校正センター

見本

### 校正結果

示値 (°C)	差 (°C)
15.00	+0.05
15.06	-0.02
15.08	-0.02

〇〇〇〇〇〇は、校正器の温度特性の校正の精度を証明します。

校正の条件 (条件)

示値 (°C)	差 (°C)
10.00	+0.04
15.00	+0.02

校正方法

- 〇〇〇〇〇〇は、校正器の温度特性を証明するために、トレーサブルな標準器を使用しました。
- 〇〇〇〇〇〇は、校正器の温度特性を証明するために、トレーサブルな標準器を使用しました。
- 〇〇〇〇〇〇は、校正器の温度特性を証明するために、トレーサブルな標準器を使用しました。
- 〇〇〇〇〇〇は、校正器の温度特性を証明するために、トレーサブルな標準器を使用しました。
- 〇〇〇〇〇〇は、校正器の温度特性を証明するために、トレーサブルな標準器を使用しました。
- 〇〇〇〇〇〇は、校正器の温度特性を証明するために、トレーサブルな標準器を使用しました。

校正に使用した標準器

- ガラス温度計標準器 (No. 2013-1)
- ガラス温度計標準器 (No. 2013-1)